

志賀原子力発電所 2号機 低圧タービンの点検状況について (羽根のひびについて)

平成18年7月18日
北陸電力株式会社

当社は、志賀原子力発電所 2号機（改良型沸騰水型、定格電気出力 135万8千キロワット）の蒸気タービンの点検を実施しておりますが、低圧タービン（B）ロータの第12段の羽根を磁粉探傷試験^{*1}により点検していたところ、本日、15枚のうち2枚の羽根根元取付け部（フォーク）にひびを確認しました。

この点検作業は、7月4日、原子力安全・保安院に提出した「志賀原子力発電所 2号機蒸気タービン点検計画書」に基づき、原子炉を手動停止し、実施していたものです。（7月4日、5日お知らせ済み）

今後、引き続き低圧タービン（B）とともに、低圧タービン（A）、（C）についても点検を実施してまいります。

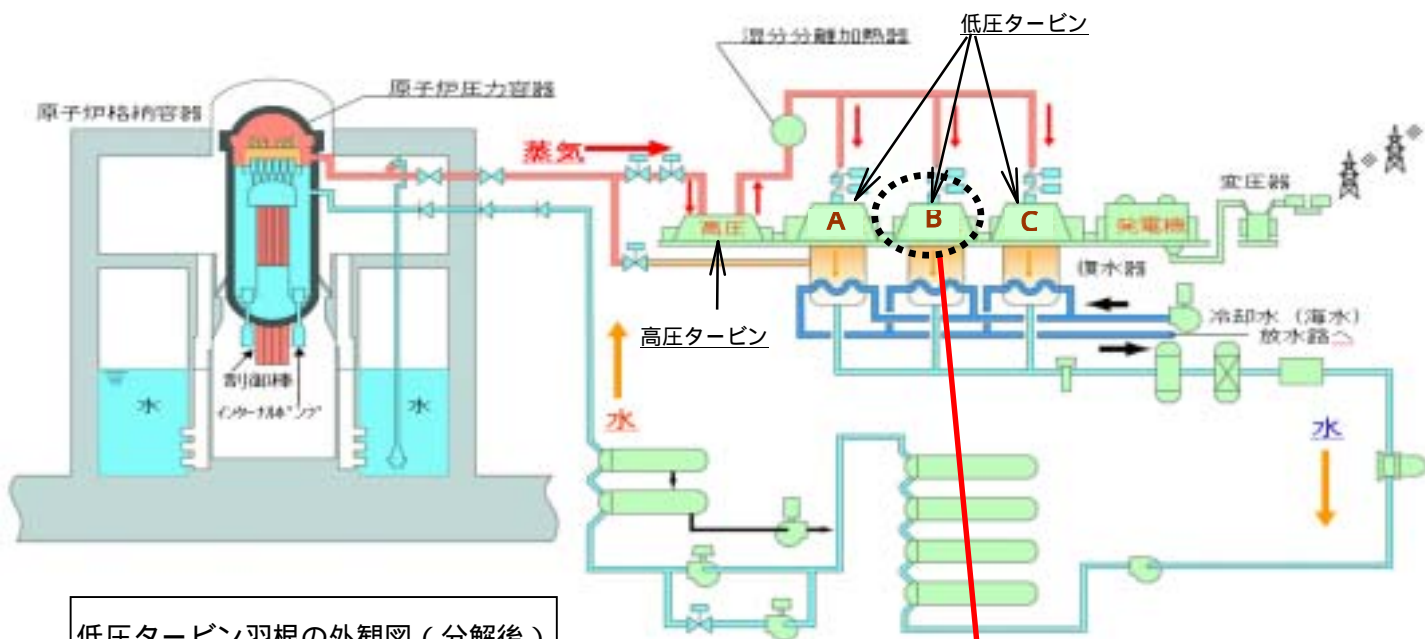
本事象については、国に連絡するとともに石川県及び志賀町と締結している連絡基準に係る覚書に基づき当該自治体へ連絡しています。

以 上

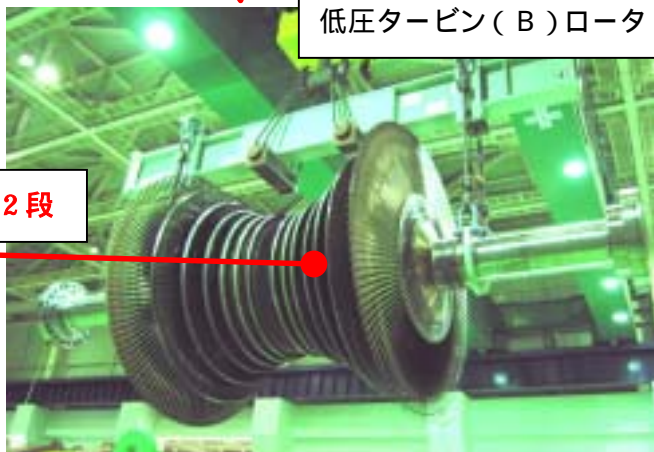
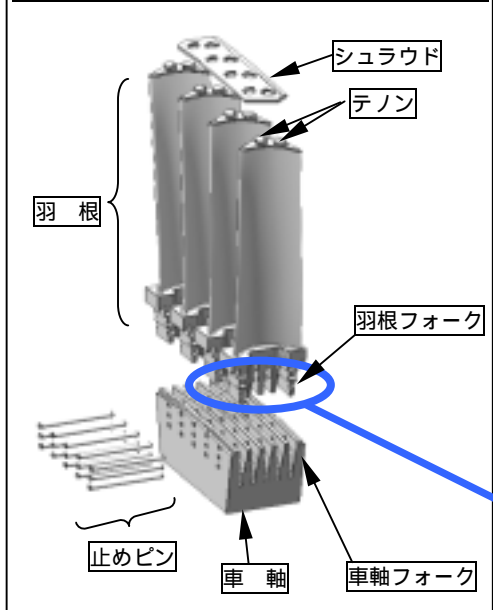
添付資料 低圧タービン（B）の点検状況

* 1 磁粉探傷試験：検査対象物を磁化させて磁粉をかけて、磁粉模様により欠陥を探す試験

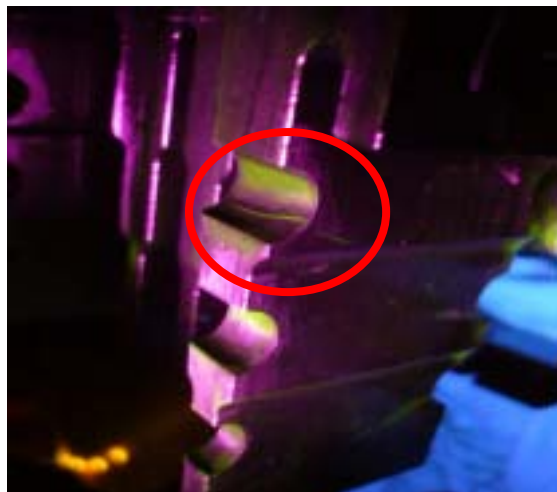
低圧タービン(B)の点検状況



低圧タービン羽根の外観図(分解後)



○ : ひびが確認された箇所



ひびの長さ : 穴の内側約 13mm、側面側約 10mm



ひびの長さ : 穴の内側約 9mm、側面側約 3mm

2枚の羽根フォーク部のひびの状況